**第2回 全国高校生英語ディベート大会**

**エッセイコンテスト 実施要項**

**The 2nd All Japan High School English Debate Tournament Essay Contest**

１．主　　催 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 （HEnDA）

２．特別協賛 GTEC（株式会社ベネッセコーポレーション）

３．応募内容 次の三つの部門で，英文のエッセイを募集します

A)　英語コミュニケーション部門

HEnDA主催のディベート大会への参加を通して，あなたの英語コミュニケーション能力はどのように成長しましたか。具体的にできるようになったこと，自分自身が主体的にとりくんだ練習方法など，自由に論じてください。

B)　論題部門

今年度の論題“That the Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours (following the EU). 「日本国は，残業も含めた週あたりの最長平均労働時間を，（EUにならい）48時間に制限すべきである。是か非か。」について，ディベートの準備段階や試合を通して学び，チームメートや他校のディベーターと対話することで深められた，あなた自身の独自の意見や考えをまとめて下さい。

C)　Make-Friends部門

英語ディベート活動への参加を通して，チームメートやライバル達と競い合い協調しあうことで，どのように成長できましたか。Make-Friendsに関わる忘れがたい体験等をシェアして下さい。

４．応募資格

2019年度にHEnDA全国大会，および，その予選を兼ねた都道府県大会かHEnDA指定のブロック大会に参加した全ての学校の生徒（選手でなくても，運営協力者・出場校の部員なども投稿可）。ただし投稿は，チーム・学校ではなく，個人単位で行うものとする。

５．締切 令和2年（2020年）2月17日（月）　17:00まで

６．応募方法

* 以下のgoogleフォームに氏名・学校名・電話番号など必要事項を記入し，エッセイ本文のWordファイルを添付し，送信
* 投稿先 <https://forms.gle/ELibbdhaVQzbn9wz6>
* いずれかの部門へ1人1点までの応募が可能（同一人の複数部門への投稿は不可）

７．エッセイ書式

* 英語での投稿を推奨するが，日本語での投稿も可能
* 語数・字数制限：英語500-600 words / 日本語 1000-1200字
* MS Word書式の文書ファイルで提出する（ページ設定A4用紙，30行，10.5pt）
* ファイル名は， <部門名><応募者氏名>2019.docx とする。（例：C鈴木一郎2019.docx）
* A) 英語コミュニケーション部門，B) 論題部門，C)Make-Friends部門のうち，該当する部門を一つだけ選び文書ファイル冒頭に明示
* 文書ファイル冒頭に以下の情報を記入
	1. 部門名（A部門, B部門, C部門）
	2. エッセイ・タイトル
	3. 氏名（英語表記および和表記を併記）
	4. 学校名（英語表記および和表記を併記）
	5. 学年

８．審査委員会 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA) 理事会

９. 応募にあたっての注意

* エッセイは，他の懸賞等に応募したことがない，オリジナルである必要があります。（多重投稿や，剽窃等が判明した場合，賞を撤回します）
* 応募をもって，以下の条件を承諾したものとします
1. 応募作品の著作権が，当連盟に帰属すること
2. 応募作品を掲載する際には，氏名・校名・学年名がHPに表示されうること
3. 応募作品の編集権が，当連盟に帰属すること（HP等への掲載にあたっては，当連盟の判断により，文章の抜粋・表記の微修正等を行うことがありえる）

10．発表

 選考結果および作品は，HEnDA連盟HP（henda.global）で発表　（３月下旬予定）

11．表彰

　最優秀賞　（全部門を通して１名） 10,000円相当

優秀賞　（A,　B,　C各部門１名） 5,000円相当

優良賞　（全部門あわせて5名程度） 3,000円相当

その他　特別賞

受賞者の作品も含め，優秀作品は，HEnDAのHP等に掲載する

以上

■問い合せ・連絡先

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟（HEnDA）

理事・事務局長　　小林 隆徳　coba@takanishi.ed.jp

お問い合せ：連盟HP（henda.global）まで